

2022年4月1日

中山観光自動車株式会社 安全統括管理者

2021年度 運輸安全マネジメントに関する取り組み目標について

基本方針

輸送の安全の確保が最も重要であること経営者及び全従業員が認識し、法令遵守のもと輸送の安全性の向上に努めます。

[1] 運輸安全マネジメントを継続し、社内共有実行を推進し輸送の安全の確保を取り組みます。(継続)

- ・乗務員への教育体制・指導機会・情報共有の確保
- ・運輸安全マネジメント委員会メンバーの役割分担を明確にし、また計画を遂行しその結果をメンバー共有できる場を増やしていきたい。(年5回)

→ほぼ目標通り実行出来たと思われるが、9月予定の乗務員の教育（全体会）が実施できず、その内容は12月の乗務員教育（全体会）にまとめて実施した。又、運輸安全マネジメント委員会の実施回数を少し減らしていきたいと思う。

[2] 安全管理・運行管理体制を再構築し、安全に対しての継続的改善を実施していきます。(継続)

- ・ドライブレコーダー映像を利用した乗務員教育の内容に更なる活かすため、ヒヤリハット案件の情報収集をしやすくするための業務の仕方を構築し、その情報を共有していきたい。
- ・軽微な事故及びクレーム等が発生した際、その抑止のために事案社内共有できる仕組みを構築する。

→ヒヤリハット案件の収集がなかなか出来ていない。帰庫点呼時に情報を収集できるよう運行管理部にお願いしたい。事故及び、クレーム等の件は週に一度の週報で本社・千葉営業所の情報を共有できるようになった。

[3] 輸送の安全に関する設備投資を増やします。(継続)

- ・最新の性能を有したドライブレコーダー・デジタルタコグラフを導入します。ドライブレコーダー用バックカメラを追加導入し、さらなら安全対策を行います。

→ドライブレコーダーのバックカメラの追設は出来なかったが、巻き込み防止の為のカメラを未設置の車両は随時導入することにした。

[4] 安全管理体制の構築のための、教育訓練を引き続き継続します。

- ・運行管理者一般講習を有資格者に1年に1度受講させます。また乗務員にも運行管理資格の受験を促進します。その上で安全運行達成に向けての運行管理を相互確認していきたい。
- ・「救急救命講習・災害時講習・雪道講習・未熟乗務員の外部機関（中央研修所等）での研修講習・運行管理者外部セミナー講習」等運行管理者・乗務員共に積極的な講習に参加します。特に外部機関での研修講習と充実したい。
- ・年間教育スケジュールを明確にしたので、その予定に従って実施していきたい。

→すべての運行管理者に一般講習を受講させた。又、乗務員からの運行管理者資格受験者は1名でした。

雪道講習は、バス協会主催のものは新人ドライバー対象に受講させ、又、会社主催でも実施した。救命救急講習等、外部機関の研修講習は新型コロナウイルスの関係で中止のものが多かったので、社内研修でDVD講習として実施した。

[5] 健康管理の取り組みを推進します。（継続）

- ・2021年度再度「睡眠時無呼吸症候群検査」を受診させる。また継続した施設での健康診断により、継続的な健康管理に努めます。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策を充実し、感染症対策を万全にしていきたい。

→全乗務員にSASスクリーニング検査を受診させた。再検査の方には診療機関を案内し、治療を進めている。

新型コロナウイルス感染防止対策は、バス車内、事務所内に抗菌作業を施し、引き続き感染防止対策に力を入れた。

輸送の安全に関する目標（2021年度）

	目 標	結 果
重大事故件数	0件	1件
有責事故発生件数	5件以内	12件
アルコール検知事案	0件	1件

以上